

令和5年度 学校だより 6月号



本宿 (ははそは)

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/honjuku>

令和5年6月16日
横浜市立本宿中学校
TEL 045-373-0529
校長 熊野 一隆

何事にも一生懸命取り組んでみよう！

校長 熊野 一隆

6月に入り雨の日が多くなりました。二十四節気では「芒種」という時期になります。稲や麦など芒（花の外側にある針状の突起）のある植物の種を蒔く頃、また蛍を見ることもできる時期ですが、段々とそのような場所は少なくなっているかもしれません。

5月31日に体育大会を開催しました。多くの来賓や保護者を迎え、最後まで競技を進めることができました。前日から雨で順延の心配があり、当日の朝起きた時には大きな不安がありました。学校に出勤し、すぐ行ったのは、グランド状態の確認でした。前日からそれなりに雨が降り、普通の中学校のグランドなら『やはり開催は難しいか』ということになるのですが、本宿中学校のグランドは、水はけが良く、判断に迷うことなく開催を決断できました。保健体育科の教員も「この程度の雨なら、数時間経っていれば間違いなくできるグランドです」と言っていたのを思い出しました。当日の天候も曇りがちで、熱中症の心配をしないですむ体育大会日和の日でした。競技も順調に進み、生徒全員が全力で取り組んでいる姿に「良い体育大会になって本当によかったな」と手前味噌ながら思いました。

ある小学校の学校便りの中に『一生懸命が一番かっこいい』とありました。私も正にその通りだと思います。一生懸命物事に取り組むことで、取り組んだことの経験値や感動を得ることができます。また、かけがえのない思い出をつくることができます。

冒険家の植村直己さんが世界最高峰のエベレストの厳冬期登山を挑戦したお話を本で読んだことがあります。その過酷さたるや想像を絶していました。頂上付近は酸素濃度が希薄で、氷点下40度にもなります。加えてたびたび風速20mを超えるジェットストリーム(猛烈な風)が吹き荒れるそうです。そうした剣難な山々に彼はなぜ魅了されたのか。

「高い山、垂直の壁に登ったから感激があるかというところではなく、どんな小さな山でも、その登る過程の中での自分の心の中にその答えがあるように思う」(『植村直己冒険の軌跡』ヤマケイ文庫)。山に挑むその意味は、登頂の達成感よりも、自分と向き合う中で培われる喜びや成長にあるのだと思います。

体育大会後の片づけは、3年生の生徒を中心に行ってくれました。その姿を観察していましたが、大きな疲れを肩に背負いながらも、黙々と意欲的に片付け作業に参加している姿に頼もしさと伝統を後輩に引き継いでいこうとする責任感を感じました。体育大会の種目に全力で取り組むことや後片付けを最後までやりきることで、『大切なこと』を学んでいた生徒たちがそこにいました。今後も生徒たちと私たち教職員が成長していくことができる行事を大切にしていきたいと考えています。

【夏休み中のマナビバ開催予定】

7月24日～28日の5日間①10:30～ ②13:00～

8月21日～25日の5日間①10:30～ ②13:00～

【8・9月の主な予定】

28日 2学期始業式/防災訓練/WEB学活

29日 教育相談(～4日)

31日 道徳公開授業(5校時)

6日 専門委員会

7日 評議会

21日 2学期中間テスト(22日)

29日 英語検定(3年のみ)

1年生PAAのふりかえり

実行委員長

5月11日、私たち一年生は無事PAAの活動を終えることができました。入学してから約一か月、あまりかわりがなかった人と関われるきっかけになったという人もいれば、みんなで協力することの楽しさを知れたなど、私たちにとっては様々なことを学び、感じる事ができた一日でした。

最初に活動が始まったときは協力すれば解決できるものという認識でいました。確かに間違いではありませんが、協力というのは結果の話であって、活動の中で強制するものではありません。実際に私の班では一部の人たちで話がまとまり、それを少しずつ、あやふやな状態で試したとき、一回も成功しませんでした。しかし、全員が役割をもちながら活動に参加していたとき、できなかったことができるようになりました。このように、全員が一つのことに向かって力を合わせたとき、本当の意味で協力ができていると思います。ですが、これはとても難しいことです。協力するまでも難しいですが、協力しているときも夢中になりすぎて周りが見えなくなったり、物の扱いが雑になったりということがありました。このように、私たちはPAAによってできることが増えました。それにより、新たな課題も生まれました。私はこの課題を次につなげ、振り返る、この繰り返しが大切だと思いました。私たちは、日常生活はもちろん、行事や委員会、部活動などの様々な場面で身につけた力をしっかり活かしていきたいと思います。



2年生自然教室のふりかえり

自然教室実行委員長

今回の自然教室では、いろいろなことが学べたり、考えたりできたと思います。特に考えていたことは、時間についてです。係ではなかったのですが、時間ぎりぎりで行動をしないように、時計を見ることを心がけていました。このことは、実行委員長なったおかげで考えられたのではないかと思います。

自然教室の思い出は、磯観察の時に、いつもだったら話さない人と気楽に話ができたことです。ちょっと新鮮な気分がして楽しかったです。また、部屋で班の人たちとトランプをしたり、たくさん話したりできて、とても楽しめました。

ぷちアドベンチャーは雨でできませんでした。その代わりに行った活動で、出された問題を正解し続けられませんでした。班のみんなと相談し、答えを決められたことがよかったです。誰かが答えを決め、それを一方的に伝えることよりもいいな、と感じました。私にとって、自然教室はいろいろなことが学べ、人と関わった2日間でした。

学級委員長

今回の自然教室では、改めて自然の偉大さを感じました。特に大涌谷を見た時に、「これが私の近くにある、環境とつながっているのだな。」と感動したことが印象に残っています。一緒にいた友達も「すごいね。」と楽しみながら見たことは大切な思い出です。また、自然と触れ合う貴重な体験もすることができました。2日目の磯観察では、普段見ない、生き物をたくさん見ることができました。「どんな生き物がいるのだろう。」とワクワクしながら楽しみました。

お林散策でも、とても背の高い松の木を見たり、春ゼミの鳴き声を聞いたりして、面白かったです。もっと、自然について調べてみたいな、と感じる体験でした。

今年度は、コロナウィルスを気にせずに、わいわい楽しむことができました。ぷちアドベンチャーの代わりに行った活動では、それぞれのチームの協力する姿が見られました。クラスの目標である、「一致団結」に一步近づいたと思います。

※3年生の修学旅行の振り返りは7月号で紹介します。

《お願い》
欠席等のご連絡は
8:15から8:25までに
お願いします

8時30分～40分の時間帯は、
職員が打合せを行っています。



夏休み マナビバ 開講日



昨年度まで夏休みのはじめに教員による学習支援を行ってまいりました。今年度は「マナビバ」を夏休みのはじめとおわりに計画をしてみました。部活動等の兼ね合いで参加機会が減らないように午前と午後の2回実施してもらえらることになりました。さらに通常1コマ60分を90分に拡大してもらいました。

ただし、講師の人数調整のため、夏休み中のマナビバは事前申込制とさせていただきます。(場所は視聴覚室となります。視聴覚室前の出入り口を使います。上履きを忘れずに。)

《7月》	午前の部	午後の部
24日(月)	10:30~12:00、	13:00~14:30
25日(火)	10:30~12:00、	13:00~14:30
26日(水)	10:30~12:00、	13:00~14:30
27日(木)	10:30~12:00、	13:00~14:30
28日(金)	10:30~12:00、	13:00~14:30
《8月》	午前の部	午後の部
21日(月)	10:30~12:00、	13:00~14:30
22日(火)	10:30~12:00、	13:00~14:30
23日(水)	10:30~12:00、	13:00~14:30
24日(木)	10:30~12:00、	13:00~14:30
25日(金)	10:30~12:00、	13:00~14:30

この夏、マナビバで宿題を終わらせてみませんか！？
この夏、「わかる」ことの喜びを味わいませんか！？

※申し込みはGフォームをお願いします。
QRコードからアクセスをしてください。
締切7月10日(月)

